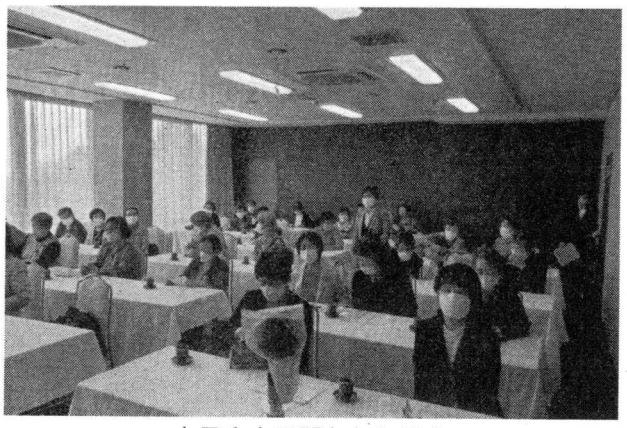
日本主婦連合会 総会開く

青蓮寺
レークホテル

転換期の消費者 さらに力合わせ

青蓮寺レークホテル前で記念撮影


ホテル内で開かれた総会

日本主婦連合会・NPO日本主婦連合会令和3年度総会を令和4年4月26日（火）、名張市・青蓮寺レークホテルにて開催いたしました。

参加者35名が新大阪で集合し、観光バスで出発。天候は曇りのち雨の予想で、少し心配しながらの一日でした。

車中では、いつもお世話になっている間瀬さんと、今回は研修員の山本さんが添乗してくれました。

バスの中では、池田副会長から「楽しい一日を」と挨拶があり、寝屋川市消費者協会・交野市消費生活問題研究会からのうれしい差し入れも配られました。その後メモが渡され、何かと思ったらクイズの始まりでした。面白い・難しい・なるほど！のクイズで全問正解者はなし、4問正解がお一人でした。

針テラスでトイレ休憩があり、その時に珍しい山野草を見つけた方もおられました。再乗車後はホテルに向けて快走、山々の新緑が目に眩しく、爽やかな車窓からの風景でした。

ホテルでの総会は午前11時25分から始まりました。司会の橋本副会長からは「コロナ禍でもあり、簡素化した総会ですが、ご協力をお願いします」と進行に臨まれました。

総会の冒頭、渕上会長より、会員の皆様に次のような挨拶がありました。

「本日はお忙しい中、このように遠くまでお越しいただき感謝申し上げます。皆様のご協力により、2ヵ月に1回の新聞発行も続けることができております。消費者のみならず、行政、企業、学界など多方面の方々に日本主婦連合会の活動を知っていただくのに欠かせぬものです。今後も地道な情報発信にご協力ください。

私たち消費者は、いま大きな転換期を迎えています。少子高齢化と人口減少が進み、情報通信技術の発展が地域社会や人々の暮らしを変え、消費者を取り巻く問題はますます多様化、複雑化しています。国際社会は国連総会が採択した持続可能な開発目標（SDGs）を2030年までに達成するために動き出しています。どの目標も一人一人の自立と責任ある行動がなければ実現できません。

私たち日本主婦連合会も消費者のための身近な取り組みから、消費者市民社会の実現をめざし、これからも皆さんと連携して活動できたらと思っています。皆さんの一層のお力添えをお願いします」。

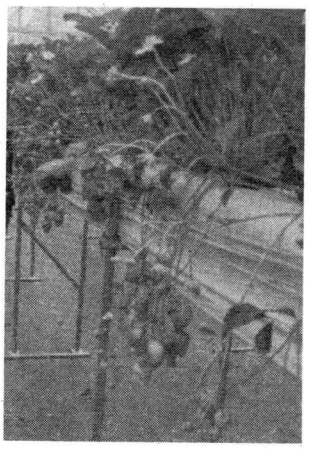
会長の挨拶のあと、事業報告・決算報告となり、今回はコロナ禍のため、書面での決議とすると池田副会長（書記担当）、道崎会計から報告があり、監査の吉村さんから適正に審査した旨の報告がありました。続いて今年度の本部役員・活動委員の紹介がありました。

今回は関西消費者クラブの船戸副会長から会員数の減少に伴い解散の旨の報告があり、木原書記の閉会の言葉で終わりました。なお、今年度は参加した会員さんには記念品として、大分県原木乾燥しいたけをいただきました。

昼食はレークホテル、お食事処「彩湖」でした、青蓮寺湖が一望できる素敵なレストランで和会席を頂きました。乾杯のあと、食事にはいりました。お膳に番号メモが添えられてあり、サンケイツアーズさんからのプレゼントの番号でした。

イチゴ狩りは、前回もお世話になりました「山本農園」です。今回は三種類の食べ比べでした。

～ イチゴ狩り 3種の食べ比べ ～



甘みと酸味のバランスが良く濃厚でしっかりした食感の〝紅ほっぺ〟・上品で芳醇な強い香りと甘みが特徴の〝かおりの〟・色づきは薄くても柔らかでジューシーで酸味が少なく甘みが強く、女性や子どもに根強い人気の〝あきひめ〟のイチゴをお腹がはちきれんばかりに頂きました。おいしいイチゴのお土産の分も購入でき、皆さん沢山買われてました。農園の方のお見送りも頂き、バスに乗り、途中に道の駅でトイレ休憩と「宇陀路・室生」でお買い物をし新大阪へと向かしました。

帰りのバスの中では、恒例のビンゴゲームがあり、大分県の名産品をゲットし、9月に予定をしている愛知県カゴメ上野工場・ミツカンミュージアムなどの研修の話になると、皆様「楽しみ！」と声を上げておられました。

最後に山崎副会長から「一日本当にありがとうございました。楽しいひと時を過ごせて良かったです。間瀬さん・山本さん、運転手さん、ありがとうございました。家に帰るまで無事故でお帰りください」と締めくくりの挨拶がありました。

幸いにも雨もひどくならず、心地よい疲れでの総会とイチゴ狩りの一日でした。

記念品に
大分の
原木乾燥しいたけ